

ふじみ市民学コース 行政と市民生活

富士見市のまちづくり現状と課題

第2回

社協が描く新たな地域づくり

—高齢化の進む地域で安心な
くらしを築くには—

講 師 社会福祉協議会
事務局長 小寺ひろ美 氏

日 時	2020年10月10日（土）10:00～12:00
場 所	鶴瀬公民館 第三集会室
講 師	小寺ひろ美 氏（社会福祉協議会事務局長）
受講者数	16人

43期「行政と市民生活」の講座は「富士見市のまちづくりの現状と課題」をテーマに5回の講座が計画された。

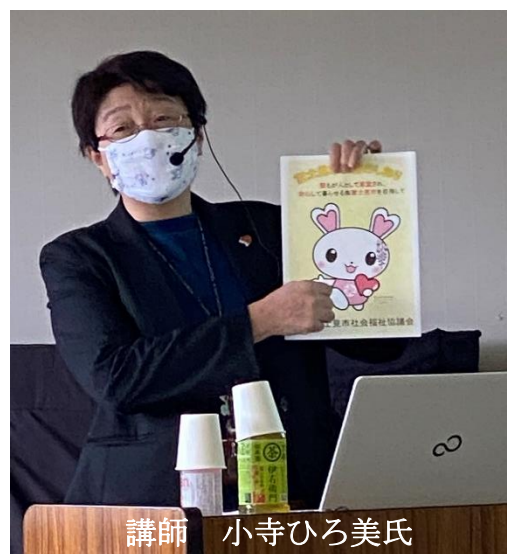
第2回講座は社会福祉協議会の事務局長小寺ひろ美氏を迎え「社協が描く新たな地域づくり」をテーマに行なわれた。

コロナの感染防止対策の徹底のため、これまでの活動スタイルが適応しなくなっている状況もあり、新たなやり方を模索しているとのお話もあった。

講義内容の概要は以下の通りである

社協ってなに？

1. 社協は社会福祉法に基づいて設置されている民間の社会福祉法人



講師 小寺ひろ美氏

2. 社協が行なっていること

- ・個別支援と個別課題 ～住民アクションへ～

80才女性の事例 ⇒介護保険サービスを利用しにくいと言う課題



富士見市在宅福祉サービス利用
(困りごとを住民同士で支え合うしくみ)

- ・地域支援と地域課題 ～住民アクションへ～

富士見市3地区(渡戸、南畑、西みずほ台、)の共通した暮らしの課題



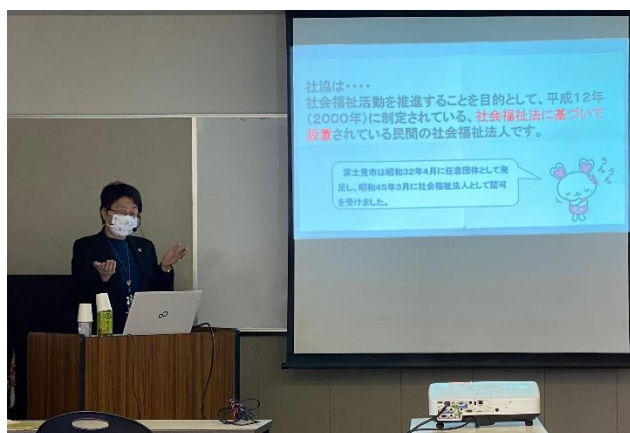
集まりを生み出す仕掛け
(見守り、居場所、声かけ、支え合い)
(様々“集まり”の単位)

3. まとめ

- ・支援の舞台(地域)

個別支援

地域支援





テーマ 社協が描く新たな地域づくり
高齢化の進む地域で安心なくらしを築くには

1. 社協ってなに？

社協は…… 社会福祉活動を推進することを目的として、平成12年（2000年）に制定されている、社会福祉法に基づいて設置されている民間の社会福祉法人です。

2. 富士見市社協が主に行っていること ～その1～

- ①地域へ福祉活動を広める
- ②人権を守り福祉サービスの利用を支援する
- ③在宅福祉サービスを提供する
- ④その他：手話通訳者派遣事業等

3. 個別支援と個別課題 ～住民アクションへ～

① 80才女性の事例

事例：U氏（女性） ・80代後半 ・独居 ・聴覚障がい者 ・認知症	10数年前に夫が他界。 子どもは無し。 弟妹のほとんどは県内にいる。 未婚の頃はろう運動にも積極的に参加していた。 現在は聴覚障害者の会や手話サークルの行事等には時々参加している。 70代頃より認知症状が現れ、介護保険を利用することとなるが…
状況 ・昼夜逆転の生活 ・ゴミ当番が出来ない ・入浴をしない ・ひきこもり	

- ② 事例 1 趣味は押し花 好きなことは字を読むこと 手話サークル
たびたび物を探すように・・・

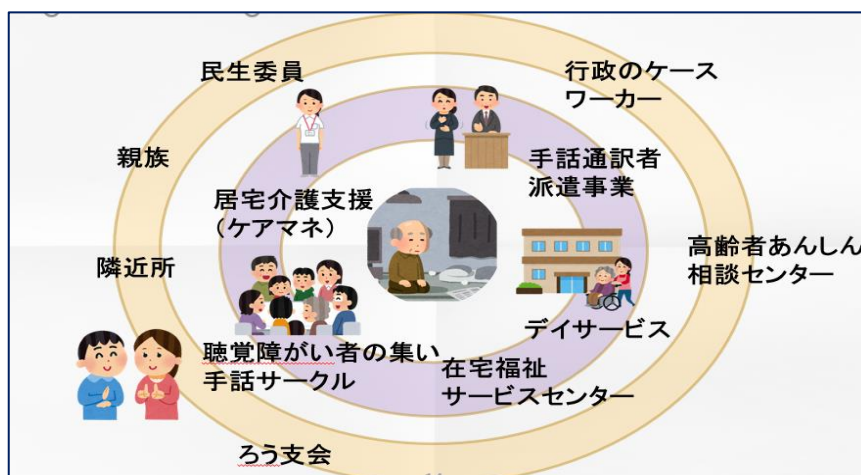
- ③ アクション 社協の手話派遣事務所に相談 ➡ 介護保険の申請へ

- ④ 「・コミュニケーションが上手く図れない、・知らない人は嫌」



介護保険サービスを利用しにくいという課題が・・・

- ⑤ 「ふじみ在宅福祉サービスセンター」を使ってみよう！
（困りごとを住民同士で支え合う仕組み）
- ⑥ 当事者を中心とした支援ソーシャルサポートネットワーク



4. 地域支援と地域課題 ～住民アクションへ～

- ① 支え合い



- ② 共通した課題



③ 南畑地域

通いの場づくり ①きっかけ 	南畑地域会議 ②働きかけ 地区社協(役員)、社会福祉関係施設、 包括、行政、社協 →顔の見える関係作り
③キーワード ・移動困難者 ・施設での移動販売	③アクション 社会福祉法人が連携して買 い物の為の移動支援を実施 したら・・・??

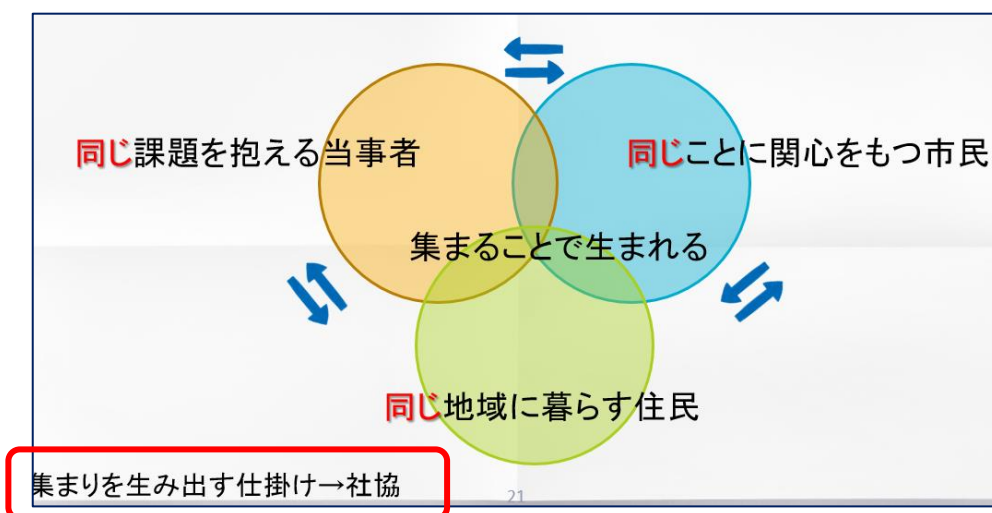
④ 西みずほ台地域

課題の掘り起こし ①きっかけ 	大人の座談会 ②働きかけ 地域の有志による参加 →地域づくりと仲間づくり →座談会が居場所へ (名称を“気楽にいこう会”へ)
③キーワード ・通いの場	③アクション 資源マップ作りへ
・地域食堂	地域主催の子ども食堂 の実施

⑤ 渡戸地域

つながりの希薄さ ①きっかけ 	講話 ②働きかけ 自治会主催の住民交流会 →つながりや役割について
③キーワード できること紹介	③アクション 側溝掃除に例年の倍以上の 参加となった

⑥ アクション



5. まとめ

① 支援の舞台（地域）

